

地域福祉増進に貢献された9名3団体を表彰 ～第42回町社会福祉大会 表彰状並びに感謝状贈呈式～



表彰を受ける阿部津枝子さん

11月18日、ハートフルプラザにおいて「第42回階上町社会福祉大会 表彰状並びに感謝状贈呈式」を行いました。町社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、受賞者の方のみご出席をいただき、浜谷町長及び松橋社協会長より、長年にわたり社会福祉の発展に寄与された方や高額寄付者に対する表彰状と感謝状がそれぞれ贈られました。

最後に、受賞者を代表して、阿部津枝子さんより「地域の皆様のご指導とご支援に感謝し、本日の受賞を励みに地域の福祉増進のため努力してまいります」とお礼のことばをいただきました。

なお、表彰を受けられた方々は以下のとおりです。（敬称略・順不同）

名誉大会長伝達

- ・青森県社会福祉大会会長表彰 濱谷 行子（町社協職員）
- ・青森県共同募金会長感謝状 特定非営利活動法人ドリーム

名誉大会長授与

＜表彰の部＞

- ・民生委員児童委員永年勤続者 坂下 薫
- ・福祉団体役員等永年勤続者 阿部津枝子（町手をつなぐ育成会役員） 下野 明美（町在宅介護者の会役員） 上平千恵子（町社協職員）

大会長授与

＜感謝の部＞

- ・高額寄付者（5万円以上） 柴田 正明 桑原 英世 藤田テイ子 佐々木俊夫 階上町連合婦人会
- ・高額物品寄付者 有限会社太田技建（車椅子1台）

あたたかいご寄付 ありがとうございました

○青森県市町村職員年金者連盟三八支部 様
金 5,000円

○鳥屋部 鹿原 牧子 様
金 50,000円

弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】

～相続・財産・多重債務・土地のトラブルなど～

- 日時 12月22日（火）
午後1時から午後3時（1人20分以内）
- 場所 ハートフルプラザ・はしかみ
・相談は予約制（先着6名）です。

■予約受付 階上町社会福祉協議会 ☎88-3067

※新型コロナウイルス感染予防のためマスクを着用しご相談ください。

年末年越し給食サービスをご利用しませんか

～おせち料理をお届けいたします～

社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。
利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 令和2年12月31日（木）
- 配達時間 午後1時～3時
- 利 用 料 無料
- 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
・令和2年12月31日までに75歳に達する方
・大晦日をご家族、ご親戚等と過ごされる方は対象となりません。
- 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を12月18日（金）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。
- 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067

※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。



配達ボランティアを募集します

社協で実施する「年末年越し給食サービス」に関わる、配達（運転）ボランティアを下記のとおり募集いたします。

- 期 日 令和2年12月31日（木）
- 活動時間 午後1時～3時 ・担当分の配達完了次第活動は終了です。
- 集合場所 ハートフルプラザ・はしかみ
- 集合時間 12時20分
- 内 容 75歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅へおせち料理の配達
- 配達範囲 階上町内5件～10件程度
- 申込期限 12月18日（金）
- そ の 他 ・配達は自家用車となります。（車両燃料は自己負担となります。）
・ボランティア活動保険は本会で加入いたします。
・配達場所は事前にお知らせします。
- 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067



編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内
☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ: <http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり21.04円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）



QRコード

第 41 回町社会福祉作文入選者が決定しました！

10月13日に社会福祉作文審査会が開催され、町内小中学校から応募のあった51編の作品の中から10編の入選作品が下記のとおり決まりました。

その中から、最優秀に選ばれた大蛇小学校6年 濱久保未羽さんと、道仏中学校3年 石沢愛莉さんの2作品を紹介いたします。なお、入選作品は文集「そよ風」第41集でご覧いただけます。文集「そよ風」第41集は社協ホームページにも掲載する予定です。入選者の皆さんおめでとうございます。

賞	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
最優秀	大 蛇 小 学 校	6	濱久保 未 羽	いつかきっと
〃	道 仏 中 学 校	3	石 沢 愛 莉	誰かのために
優秀	小舟渡小学校	5	長 根 明 凜	わたしの弟
〃	道 仏 中 学 校	2	長 根 愛 理	灰色から白へ
佳作	赤保内小学校	4	前 田 果 穂	みんなのために
〃	大 蛇 小 学 校	6	新井田 悠太朗	父からの言葉
〃	大 蛇 小 学 校	6	村 田 一 晃	ばあちゃん、ただいま
〃	小舟渡小学校	6	金 澤 幸 音	輝く海の小舟渡へ
〃	階 上 中 学 校	1	滝 沢 祥 子	高れい者疑似体験から学べたこと
〃	道 仏 中 学 校	3	澤 田 佳 鈴	優しい社会の実現に向けて



いたり笑ったり、怒ったり、素直な心のままにいられたのではないだろうか。今よりもっと楽しい生活なのだと思う。家族のみんなも、きつと同じ気持ちだろう。でも、祖父はいない。私は、祖父にはなれないけど、祖父と同じように祖母を笑わせられるようになりたい。だから、陸上の大会でいい成績を出して、元気に報告したい。そう思っ、毎日、張り切って練習している。いつかきつと、祖母に笑ってもらいたい。天国にいる祖父もきつとそう思っていると思う。

【最優秀】
「誰かのために」
道仏中三年 石沢 愛莉



私の母は、養護学校で働いていました。重い障がいをもっている人達がいるクラスで、授業、トイレ、給食の介助、体操の手伝い、バスの送迎などを担っていました。

「笑ったり、泣いたり、感情表現が出来ない人がいるのに、一瞬だけみんながでる時があるの。それを見られることが奇跡でとても楽しい。」

母が毎日のように、その日の出来事を楽しそうに話していたことを覚えています。自分のクラスのようにいる子がいいます。どんな子がいて、何をしたらかなど、聞いている私まで楽しい気持ちになりました。確かにその子達は、体の不自由さをもっています。し



【最優秀】
「いつかきつと」
大蛇小六年 濱久保未羽

私は祖父の顔を知らない。祖父は漁師だったらしい。いつも魚を釣っていたそう。それは、私が二才のときのこと。漁の最中に大きな波に飲み込まれて亡くなってしまった。

仏だんの部屋には、大きな遺影がある。大ききから、とても大切にされているとわかる。でも、他の場所には一枚もない。アルバムの中にさえ、祖父の顔は見当たらない。だから、その大きな遺影の真剣な表情の顔からしか祖父のことを想像することができない。

最近、地域の漁師の方から、「濱久保さんこの孫さんでねえか。そっくりだな。」と、声をかけられることがある。そのたびに、祖父はどんな人だったんだろうと思ってしまう。たくさんの

人に声をかけられるから、きつと、多くの人に受け入れられる人だったに違いはない。そして、その祖父に私は似ているのかとそのたびに思う。

祖母は、毎朝必ず、仏だんに行っておがんでいる。横からそつとのぞき込むと、いつも悲しそうな顔をしている。私が知っている限り毎日そうなのだから、もう十年近くもそうしておがんできたのだろう。だから、祖父のことを忘れた日なんてないと思う。

この祖母の姿から、祖父が亡くなったことが本当に辛かったんだと思う。私は、学生の兄がいるが、数日会えないだけで、胸が苦しくなる。帰ってくるのが待ち遠しい。しかし、祖父は帰ってこないのだ。帰ってこない祖父のことを、十年も思い続けているのだろう。

祖母にこんなにしたわれている祖父は、どんな人だったのだろう。明るくて優しく、頼りがいのある人だったんだろうな。だから、祖母は毎日おがんでいるんなことを伝えてるに違いない。祖母は、どんなことを伝

えているのだろうか。どんな思いで毎日生活しているのだろう。毎朝の悲しそうな顔を見ると、心配になってくる。

「行ってきます。」私が、学校に行くとき、元気に声をかける。 「行つてらっしゃい。」と、祖母は明るい声で返事をしてくれる。でも、笑っているわけではない。

私が学校に行っている間、祖母は家に一人だ。その間、もくもくと畑仕事をしている。一人でまた、悲しい顔をしているのだろうか。だって、私は祖母が笑うところを見たことがないからだ。泣くところもない。感情があふれないように、祖母はがまんしているのかもしれない。

私は、学校から帰ってくると、祖母と話をする。私の話を聞く祖母は明るいが、笑っているわけではない。たまに、私が気になっている祖父の話題になると、突然、悲しそうな顔になる。だから、あまり聞かないようにしている。

もし、祖父が生きてここにいたら、祖母はどんな表情なんだろう。もっと、泣

希望を強くもっていて、やりたいことをするのも同じで、全く変わることはないのです。他の人からすれば、「出来ないんじゃない」と思ってしまう夢も、楽しそうに語る様子を見て、母自身が勇気をもらったそうです。

「楽しそうに明るく話をしてくれるだけで本当に叶いそう。」母からそんな話を聞いて、「私はやりたいことを思い切つてできているのだろうか。」と思いました。

そう考えると私は、やりたいことがあっても素直に言えないし、「本当はこう思う」ということを、恥ずかしいと思つてしまい、思い切つて表現することが出来ずにいました。でも、そのような気持ちは他の人には見えません。見えなければ持つていないことと同じなのです。夢を諦めずに追いつける彼らの前向きさは、自分の内側だけに向かつていた私の心に、メッセージを届けてくれたように感じました。

障がいをもっている人と交流したことがなかったのと思い違いをしていた私でしたが、母の話を通じて考

え方が大きく変わりました。その人が、その人らしく生きることには、その人の意思が関わってくる。明るく前向きに生きようとすることに、障がいの有無は全く関係ないということがはっきりとわかりました。そしてその認識は、私の将来の考え方へもよい影響を与えてくれました。

私はまだ「何がしたい」という明確な目標はありませんが、母のように人を手助けするような仕事も、視野に入れてみたいと思うようになりました。人と接することは苦手ですが、それを克服することも大切なので、あえて人と接する職業を選ぶことも選択肢だと思えるようになりました。叶えたい夢は「誰かの役に立つ」仕事に就くことです。

私の夢は、叶うか叶わないかはわかりませんが、夢を堂々と語り、明るく楽しく過ごしていきたいと思っています。

未来の私が、笑顔で、誰かのために何かが出来る人であるために……。